

# REDDプラスへの取組動向 Country Report 平成25年度 タンザニア連合共和国



## contents

---

1	森林の概況	1
1.1	経年変化	1
1.2	今後の森林計画等	2
2	REDDプラスへの取組状況	3
2.1	取組開始	3
2.2	REDDプラス実施体制	3
2.3	REDDプラス実施のための国内制度設計	5
2.4	REDDプラス戦略発展プロセス	6
2.5	REDDプラスへの取組(年表)	7
3	主だったREDDプラス関連事業の実施状況	9
3.1	主だったREDDプラス関連事業の実施状況	9
3.2	その他の支援	13
4	その他	14
4.1	UNFCCCへの関与情報	14
4.2	UNFCCCへ提出している森林情報	14
4.3	その他の特徴的な地球温暖化対策	14

# 1

## 森林の概況

- タンザニアの森林植生は、半落葉熱帯降雨林、サバンナ林、半落葉熱帯山地降雨林に大別される。半落葉熱帯降雨林はタンザニアの西側の高原、台地に広く分布している<sup>1</sup>。サバンナ林については、タンザニア北東部に有刺林サバンナが分布している。
- タンザニアは35,300千haの森林を有し、そのうち18,300千haは保護林(Reserved Forests)である。保護林のうち、1,600千haは水源涵養林と生物多様性及び土壌保全を目的とした森林であり、また2,000千haは野生動物保護区である。さらに、80千haの保護林は政府が所轄する16の植林林業(Plantation Forestry)対象地であり、4,100千haは参加型森林管理(Participatory Forest Management : PFM)の対象地である。上記保護林以外の17百万haを越える森林には適切な管理の枠組みがなく、森林減少が顕著である<sup>2</sup>。
- タンザニアは、2000年から2010年の森林減少面積が世界第5位(森林面積の平均減少速度400千ha/年)であった。森林減少・劣化の要因として、保護林への不法侵入、耕作地への転換、山火事、違法伐採、鉱山開発、薪採取、バイオ燃料生産のための大規模農業の導入等がある<sup>3</sup>。

### 1.1 経年変化

表 1-1 タンザニアの概況

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計) <sup>4</sup> (千人)	25,479	34,038	44,841
GDP <sup>4</sup> (百万米ドル)	4,259	10,186	22,915
1人あたりGDP <sup>4</sup> (米ドル/人)	377	567	1,044
GDP成長率 <sup>4</sup> (%)	7.0	4.9	7.0
国土面積 <sup>5</sup> (千ha)	94,730	94,730	94,730
森林面積 <sup>5</sup> (千ha)	41,495	37,462	33,428
森林率(%)	43.8	39.5	35.3
年平均森林減少面積 <sup>5</sup> (千ha/年)	-	403	403
Primary Forest <sup>5</sup> (千ha)	0	0	0
Other naturally regenerated forest <sup>5</sup> (千ha)	-	-	33,188
Planted Forest <sup>5</sup> (千ha)	150	200	240
Carbon stock in living forest biomass <sup>5</sup> (百万t)	2,505	2,262	2,019

(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

<sup>1</sup> 出典：海外林業コンサルタンツ協会(2013)2013年度版開発途上国の森林・林業。

<sup>2</sup> 出典：United Republic of Tanzania(2010)Tanzania Readiness Preparation Proposal(R-PP):1-3。

<sup>3</sup> 出典：FAO(2012a)Socio Economic Implications。

<sup>4</sup> 出典：UN data

<sup>5</sup> 出典：FAO(2010)Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables。

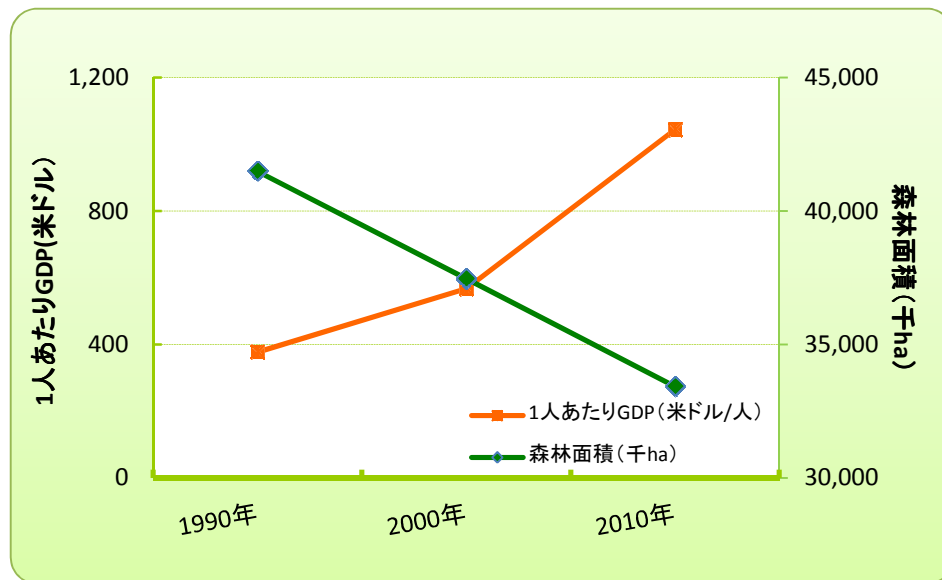


図 1-1 タンザニアの1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)<sup>5</sup>

## 1.2 今後の森林計画等

- タンザニアREDDプラス戦略<sup>6</sup>では、実施体制の強化、能力開発、REDDプラスに関する情報共有システム、啓蒙の強化、様々な農業・生態区分での森林減少の要因に対処するためのメカニズムの強化等を目指して、REDDプラス実施に向けた準備を進めている。また、REDDプラス戦略は、既存の国家戦略(Vision 2025)、1997年に策定した国家環境政策、1998年に策定した参加型森林管理を促進する森林政策、そして1995年に策定した国土政策等と関連、調和させるとしている。

<sup>6</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2013a) National Strategy for Reduced Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD+).

# 2

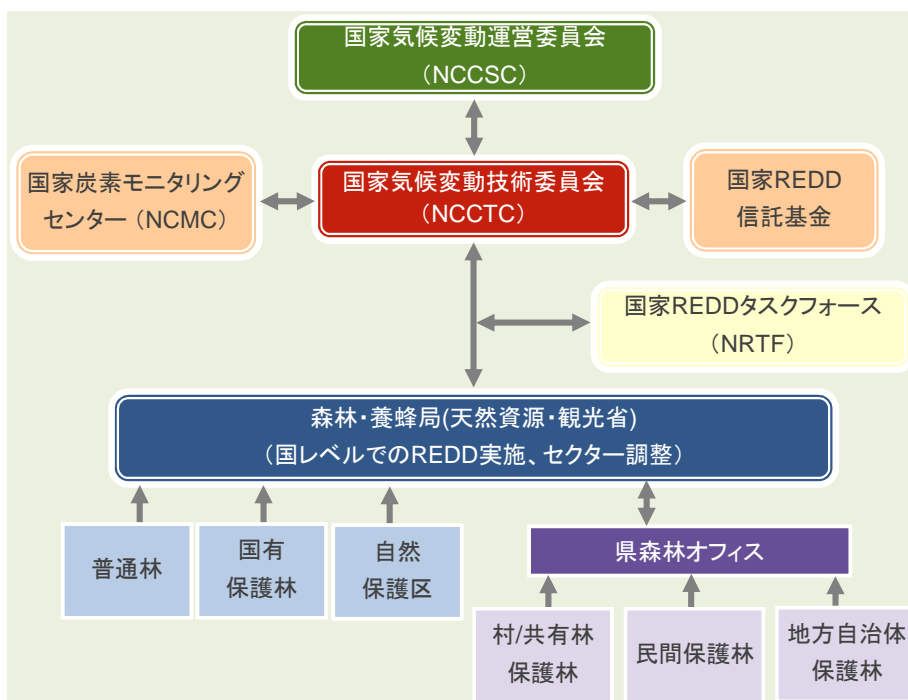
## REDDプラスへの取組状況

### 2.1 取組開始

- 2008年にタンザニア政府とノルウェー政府との間で気候変動・森林に関する2国間合意が成立し、REDDプラス政策、官・民・NGOの3者によるREDDメカニズムとパイロット事業、REDDに関する研究・訓練・教育の実施、MRVシステム開発を含む制度的な発展、REDDの資金システムの開発、成果ベースの資金配分等に焦点を当てたREDDプラスに取り組むことになった。
- タンザニアは、UN-REDDの支援を受け国家REDDプラス戦略の策定に取り組み、2012年末に作業を完了し、2013年3月に公開した<sup>7</sup>。

### 2.2 REDDプラス実施体制

- タンザニアにおいて、REDDプラスに関する活動の調整は、国、県、地域（村等）の3レベルにて実施されている。



- (注) NCCSC : National Climate Change Steering Committee  
NCCTC : National Climate Change Technical Committee  
NCMC : National Carbon Monitoring Center  
NRTF : National REDD Task Force

図 2-1 タンザニアにおけるREDDプラス実施体制<sup>8</sup>

<sup>7</sup> 出典：Tanzania (2013) REDD Readiness Progress Fact Sheet: Tanzania June, 2013.

<sup>8</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP) : 12.

表 2-1 タンザニアのREDDプラス関係省庁及びその役割(案)<sup>8</sup>

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
国家気候変動運営委員会 (National Climate Change Steering Committee : NCCSC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ エネルギー、財務、産業、法務、国土、農牧畜開発、外務等、13省庁の事務次官から構成される委員会</li> <li>■ REDDプラスの実施に関する全体的な助言、実施の監督を担当</li> <li>■ 国家レベルの気候変動問題全体を担当する副大統領府に対して、報告を実施</li> </ul>
国家気候変動技術委員会 (National Climate Change Technical Committee : NCCTC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各省庁の局長から構成される委員会</li> <li>■ REDDプラス戦略の実施を含む、気候変動に関する課題実施に関する技術的な監督を担当</li> </ul>
国家炭素モニタリングセンター (National Carbon Monitoring Center : NCMC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ REDDプラス活動の確認、報告、測定に関する技術的なサービスを提供する予定</li> <li>■ センターは、今後、設置予定</li> </ul>
国家REDD信託基金 (National REDD Trust Fund)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ REDDプラス戦略実施のため、財源をまとめ、関係機関に対して配分を実施予定</li> <li>■ 基金は、今後設置予定</li> </ul>
国家REDDタスクフォース (National REDD Task Force : NRTF)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 政府によって任命された8名で構成</li> <li>■ REDDプラスに関する活動を調整し、REDDプラスの準備に関する技術的、実務的な課題を監督</li> <li>■ タスクフォースは、最終的に恒久的な機関になる予定</li> </ul>
森林・養蜂局(天然資源・観光省)(Forestry and Beekeeping Division)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 森林政策、調整の責任を有し、国家REDD戦略策定プロセスを開始</li> </ul>
REDDプラス技術作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国家REDDプラス戦略策定プロセスに対して、技術的な情報を提供</li> <li>■ 活動計画策定に向けたシンクタンクとしても機能</li> </ul>
国家REDDプラス事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国家REDDタスクフォース(NRTF)やREDDプラス技術作業部会の活動支援を実施</li> <li>■ 国レベルでの能力開発における支援を実施</li> </ul>

## 2.3 REDDプラス実施のための国内制度設計

### 2.3.1 REDDプラス実施の枠組み

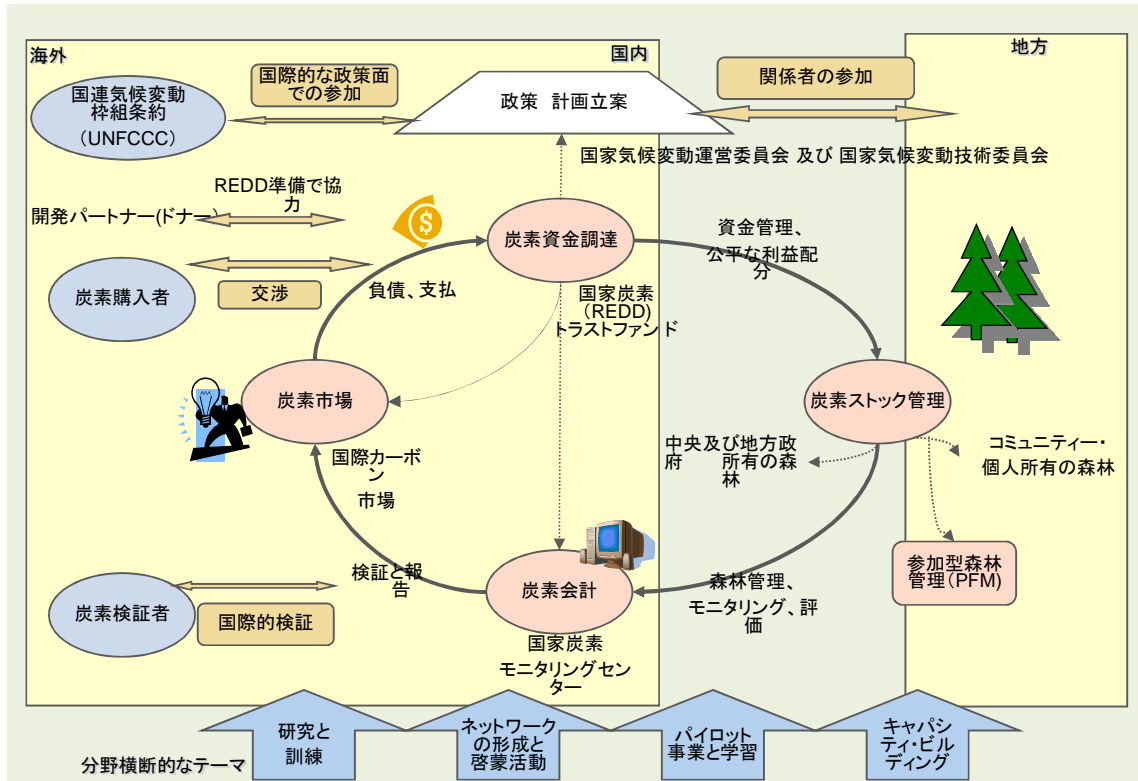


図 2-2 タンザニアにおけるREDD戦略的実行フレームワーク<sup>9</sup>

### 2.3.2 REDDプラス実施にあたっての許可制度<sup>10</sup>

- タンザニアでは、1997年に制定されたタンザニア投資法(Tanzania Investment Act)に基づき、海外の投資家が土地の配分を受けることが可能である。
- タンザニアでは、土地所有権を州が有している。一定期間の活動実施にあたっては、関連法に基づく手続きにより政府(土地・住宅省(Ministry of Lands and Human Settlements))から土地を借りることができる。土地の貸借期間は最大99年間である。
- タンザニアでは、慣習法に基づいて村が州有地を使用している場合が多いが、上記の手続きにより、この慣習法を抹消し、プロジェクト実施者が土地の使用権を得ることが可能となる。
- 土地使用権の貸借にあたっては、地代の支払い条件を設定すること(例：0.4米ドル/エーカー・年)、関連法に基づき土地の持続可能な利用に努めること、再植林による森林保全を進めること、土地の境界を明確にして標識を設置すること、といった条件に対応する必要がある。

<sup>9</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP)：36.

<sup>10</sup> 出典：Green Resources (2009) Reforestation in grassland areas of Uchindile, Kilombero, Tanzania & Mapanda, Mufindi, Tanzania.

### ■ 2.3.3 MRVシステム

- タンザニアは、REDDプラスに関するMRVシステム構築に先駆け、フィンランド政府及びFAOの支援の下、2009～2013年に、REDDモニタリング・レポートやMRVシステムの構築に必要なデータ(森林資源インベントリ)の作成を目的とした「森林資源のモニタリングと評価(National Forestry Resources Monitoring and Assessment : NAFORMA)」プロジェクトを実施した<sup>11</sup>。
- NAFORMAプロジェクトでは、森林モニタリングに関する調査マニュアルの策定、森林資源データベースの構築、森林ガバナンスの強化に向けた検討を実施した。
- NAFORMAプロジェクトで得られた森林資源等に関するデータを活用し、今後、MRVシステムの構築を進める予定である。

### ■ 2.3.4 利益配分システム

- 利益配分に関する明確な規定はない。
- プロジェクトの中には、取組実施によるGHG排出削減の効果をプロジェクト実施者が全て獲得できるが、収益の10%を、対象地を含む地域コミュニティへ還元する形で再投資しなければならないという取り決めを行っている例がある<sup>10</sup>。

## ■ 2.4 REDDプラス戦略発展プロセス

- タンザニアの参加型森林管理(PFM)は、中央政府から地方政府への実質的な森林管理権利の移譲であって、地方分権的な森林管理となっている。PFMには、コミュニティベースの森林管理、中央政府の森林局での共同森林管理(Joint Forest Management : JFM)の2種類がある。タンザニアはPFMがREDDプラス実施の原動力になると期待しており、2009年にはNational REDDプラスタスクフォース(TF)を設置し、TFの下に5つのワーキンググループ(WG)を配置した。すなわち、(1)MRVシステム、(2)政策、法律、ガバナンス、REDDプラスセーフガード、(3)REDDプラスの資金メカニズム、(4)エネルギードライブ、(5)農業ドライブである。
- タンザニアのREDDプラス戦略発展プロセスは以下の通りである。
  - 初期分析フェーズ : タンザニアにおけるREDDプラスの可能性を特定する調査、REDDプラス実施能力の向上、課題の選定
  - 戦略的分析及びパイロットフェーズ : より深い分析とパイロットプロジェクトの実施(例: REDDプラス見直しのための政策、法律、制度の枠組み構築)
  - 戦略調整フェーズ : 戦略案共有のためのワークショップ開催、コメントの交換等
- 現在は参加型で機能的なモニタリングのためのMRVシステムの確立に向けた取組を開始した段階で、システム確立後に国ベース、県ベース、地域ベースにおいて国家森林資源モニタリング評価プロジェクトを実施する予定である。また、9つのパイロットプロジェクトでは参照シナリオを作成している。

<sup>11</sup> 出典 : FAO (2013) National forest assessments- country projects: Tanzania.



表 2-2 タンザニアにおける環境社会影響活動及び予算の概況と計画<sup>12</sup>

大項目	中項目	推定費用(単位:千米ドル)				
		2010	2011	2012	2013	計
戦略的環境・社会評価 (Strategic Environmental and Social Assessment : SESA)の最終化、及びSESA担当機関に対する組織への訓練・能力向上	コンサルテーションと技術協力	120	50	0	0	150
	国家環境管理委員会(National Environmental Management Council : NEMC)とTFとの調整と支援	30	30	50	30	140
	成果を共有するための国内関係者とのワークショップ	55	0	0	0	55
	国・県レベルでの訓練	80	55	40	0	175
	SESA実行のための地方政府(Local Government Authority : LGA)とその他の組織への支援	40	35	30	0	105
計		325	170	120	30	625
資金源	政府	25	30	15	3	73
	FCPF	0	0	0	7	237
	UN-REDD プログラム(可能な場合)	100	70	45	20	235
	ノルウェー・タンザニア気候変動パートナーシップ	100	70	60	7	237

## 2.5 REDDプラスへの取組(年表)

表 2-3 REDDプラスに関する主な取組

REDDプラスに関する主だった取組	
2004年	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理法(Environmental Management Act)策定。同法により、副大統領府の環境部が気候変動に関する全ての課題の調整役となることを規定</li> </ul>
2008年	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月、ノルウェー政府と、気候変動に関する課題への対応についてパートナーシップを形成するための同意書に署名</li> <li>タンザニア政府がREDD準備段階を開始</li> </ul>
2009年	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月、国家REDDタスクフォース(NRTF)を設置</li> <li>2月、世界銀行の森林炭素パートナーシップ基金(Forest Carbon Partnership Facility : FCPF)に、改訂版Readiness Programme Idea Note(R-PIN)を提出</li> <li>5月、国際連合食糧農業機関(Food and Agriculture Organization : FAO)と、森林資源のモニタリング・評価を目的とした国家森林資源モニタリング及び評価(National Forest Resource Monitoring and Assessment : NAFORMA)に関する信託基金協定を締結</li> </ul>
2010年	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月、FCPFにReadiness Preparation Proposal(R-PP)を提出</li> </ul>
2011年	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月、REDDプラス戦略文書を発表</li> </ul>

<sup>12</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP) : 46 Table 2d.

表 2-3 つづき

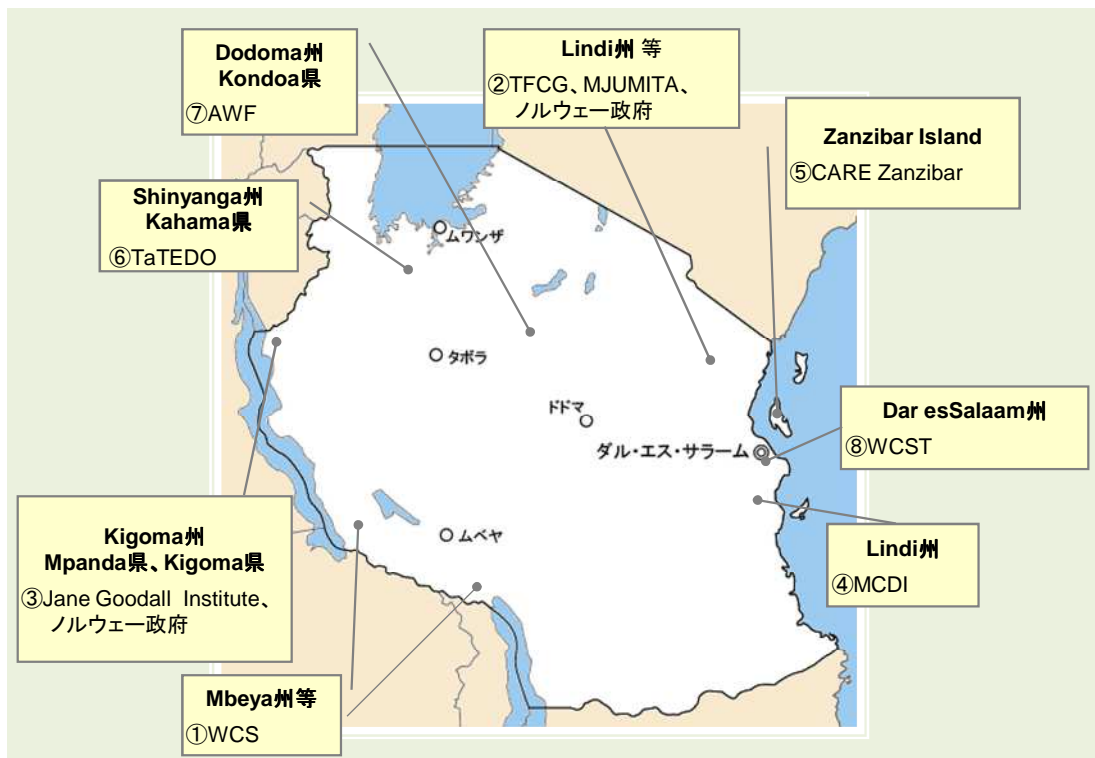
REDDプラスに関する主だった取組	
2012年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ REDDプラスに関するウェブサイトを構築・公開</li> <li>■ 10月、UNDPとの連携の下、REDDプラス・キャパシティ・ニーズ評価 (Capacity Needs Assessment : CNA)を、2012～2017年の能力開発計画の一環として実施</li> <li>■ 12月、国家REDDプラス戦略の策定を完了</li> </ul>
2013年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月、国家REDDプラス戦略を公開</li> <li>■ 6月、森林資源のモニタリングと評価 (NAFORMA)プロジェクトの成果を公開</li> </ul>
2014年以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国家炭素モニタリングセンター (NCOMC) 及びREDDプラス基金 (National REDD+ Fund)を設置予定</li> <li>■ UN-REDDの支援のもと、政策・規則類の整備、国ベースの参照レベル設定、セーフガード情報システムの構築を実施予定</li> </ul>

# 3

## 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

### 3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

- 2013年12月末現在、8件のパイロット事業が政府公認の下で実施されている(図3-1及び表3-1中の①～⑧の取組)。



(注) 2013年12月31日現在実施中の事業を示している。

(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

図 3-1 タンザニアにおける主だったREDDプラス関連事業の実施地域及び実施団体

表 3-1 タンザニアにおける主だったREDDプラス関連事業実施及び資金支援の状況

	事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
①	NGOによる 支援	Wildlife Conservation Society (WCS)	Mbeya州 等 (タンザニア南部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名「Southern Highlands Conservation Programme」<sup>13</sup>。</li> <li>タンザニア南部高地におけるREDD活動に参加するためのキャパシティ開発を目的として、2000年に開始、2013年に終了予定。</li> <li>対象地面積は、約53千ha。</li> </ul>
②	二国間 支援	ノルウェー政府、 Tanzania Forest Conservation Group (TFCG)、The Tanzanian Community Forest Conservation Network (MJUMITA)	Lindi州、 Dodoma Mpwapwa 県、 Morogoro 州 Kilosa 県	<ul style="list-style-type: none"> <li>貧困層に裨益するコミュニティ重視のREDDのパイロットプロジェクト<sup>14</sup>。</li> <li>Kilosa県等を対象とした、2009年9月から5年間のプロジェクト。対象となる森林面積は約5万ha、プロジェクト費用は約5.9百万米ドル。</li> <li>活動は、コミュニティへのキャパシティ・ビルディング及びカーボン企業の設立等。</li> </ul>
③	二国間 支援	ノルウェー政府、 Jane Goodall Institute (JGI)	Kigoma州 Mpanda 県、 Kigoma県	<ul style="list-style-type: none"> <li>2010年にノルウェー大使館等から2.7百万米ドルの資金を得て、タンザニア西部で実施されているREDDパイロットプロジェクト<sup>15</sup>。約70千haの森林が対象。</li> <li>活動の一環として、コミュニティの森林のインベントリ、モニタリング、管理を支援するための研修を実施。</li> </ul>
④	NGOによる 支援	Mpingo Conservation & Development Initiative (MCDI)	Lindi州 (タンザニア南東部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名「Mpingo Conservation &amp; Development Initiative (MCDI)」<sup>16</sup>。</li> <li>2010年に開始されたREDDプラスパイロットプロジェクト。参加型森林管理活動とFSC認証取得を統合的に実施する。</li> </ul>

<sup>13</sup> 出典：WCS Tanzania (2012) Southern Highlands Conservation Programme.

<sup>14</sup> 出典：Tanzania Forest Conservation Group (2012) Making REDD work for communities and forest conservation in Tanzania.

<sup>15</sup> 出典：The Jane Goodall Institute (2012) Tanzania REDD program.

<sup>16</sup> 出典：Forest Carbon Portal (2012) MCDI REDD Project.

表 3-1 つづき

	事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
⑤	NGOによる支援	CARE Zanzibar	ザンジバル島	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名「Piloting REDD in Zanzibar through Community Forest Management」<sup>17</sup>。</li> <li>コミュニティの森林管理を通じて男女差別と貧困をなくすことを目的とした、2010～2013年の4年間のプロジェクト。</li> <li>27千haの森林を対象としたREDDパイロットプロジェクトを実施。</li> </ul>
⑥	NGOによる支援	Tanzania Traditional Energy Development and Environment Organization (TaTEDO)	Shinyanga州 Kahama県等 (タンザニア西部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名「Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngtilis in Shinyanga Region) Pilot Project」<sup>18</sup>。</li> <li>コミュニティベースでREDDプラスを実施するための制度的枠組みの形成と能力開発を目的としたプロジェクト。</li> <li>2010年から2013年までの4年間、ノルウェー外務省からの資金支援を受けて実施。</li> </ul>
⑦	NGOによる支援	African Wildlife Foundation (AWF)	Dodoma州 Kondoa県 KOLO Hills	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンザニア中部Kondoa県のKolo Hillsの約56千haを対象とした3年間のREDDパイロットプロジェクト<sup>19</sup>。</li> <li>プロジェクトを通じて2.6百万t-CO<sub>2</sub>削減が期待されている。</li> </ul>
⑧	NGOによる支援	Wildlife Conservation Society of Tanzania (WCST)	Dar es Salaam州	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名「Conserve the Lungs of Dar es Salaam」<sup>20</sup>。</li> <li>州内のPugu森林保護区及びKazimzumbwi森林保護区における、森林減少・劣化抑制等のREDDプラスプロジェクト。</li> <li>プロジェクト実施期間、対象面積等の詳細は不明。</li> </ul>

<sup>17</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2013b) CARE Zanzibar.

<sup>18</sup> 出典：TaTEDO (2012) Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngtilis in Shinyanga Region).

<sup>19</sup> 出典：African Wildlife Foundation (2012) Advancing REDD in the Kolo Hills Forests (ARKFor).

<sup>20</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2013) WCST.

表 3-1 つづき

	事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
■ 資金・技術支援				
—	二国間 支援	フィンランド政 府、FAO	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名「NAFORMA」<sup>11</sup>。</li> <li>REDDモニタリング・レポートやMRVシステムの構築に必要なデータ(森林資源インベントリ)作成を目的とする「森林資源のモニタリングと評価」に関するプロジェクト。2009年5月に開始、プロジェクト期間は3年間。</li> <li>森林資源インベントリは、当初予定から1年おくらせて2013年に作成を完了し、2013年6月に最終ワークショップを開催。</li> </ul>
—	二国間 支援	ノルウェー政府	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009年から、ノルウェー政府はREDDプラスに関する様々な支援を提供<sup>21</sup>。</li> <li>2009～2013年に、国家REDDプラス戦略の策定、情報共有を目的とするプロジェクトを実施。</li> <li>2010～2014年に、森林モニタリング、REDD財政メカニズム構築支援を実施。</li> </ul>
—	国際基 金	UN-REDD	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名「UN-REDD Programme – Tanzanian Quick Start Initiative」<sup>22</sup>。</li> <li>2009年10月から2年間のプロジェクト。予算は4,280千米ドル。</li> <li>REDDプラスに関するガバナンスの枠組み形成、能力強化等を目的とする取組。</li> </ul>
—	NGOに よる 支援	WWF Tanzania	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名「Enhancing Tanzanian Capacity to Deliver Short and Long Term Data on Forest Carbon Stocks across the Country」<sup>23</sup>。</li> <li>国内にある森林の炭素貯蔵に関するデータの収集、管理を目的としたネットワークの形成と、そのための能力強化を実施。</li> </ul>

(注) 左列の番号は、図3-1と対応。

<sup>21</sup> 出典：Government of Norway (2013) Combating Climate Change and Deforestation.

<sup>22</sup> 出典：UN-REDD (2009) Standard Joint Programme Document.

<sup>23</sup> 出典：Tanzania REDD+ Initiative (2012) Locations of Pilots Projects in Tanzania.

## ■ 3.2 その他の支援

---

- タンザニアの森林基盤データの整備及び管理に係る技術支援は、フィンランドとFAOが2009年から3年間の予定で実施している<sup>24</sup>。

---

<sup>24</sup> 出典：•FAO（2013）National forest assessments- country projects: Tanzania.

# 4

## その他

### 4.1 UNFCCCへの関与情報

#### 4.1.1 UNFCCCでの取組状況

表 4-1 UNFCCCでの取組状況<sup>25</sup>

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名：1992年6月12日、批准：1996年4月17日
京都議定書	批准：2002年8月26日
DNA担当組織	副大統領府 環境局 (Department of Environment, Vice Presidents Office)
第1次国別報告書	2003年7月4日提出
第2次国別報告書	未提出(2013年12月31日現在)

#### 4.1.2 NAMAsにおけるREDDプラスの位置づけ

- 森林分野のNAMAs実施方針として、森林資源のモニタリング、評価・査定技術の開発・強化を実施し、総合的な資源管理を実行するという<sup>26</sup>。しかし、REDDプラスという文言は用いられていない。

### 4.2 UNFCCCへ提出している森林情報

表 4-2 A/RCDMのための森林定義<sup>27</sup>

項目	値
森林面積	最小0.05ha
樹冠率	最低10%
樹高	最小2m

表 4-3 A/R CDMの対象森林<sup>27</sup>

項目	A/R CDMの対象状況
ゴム林	(記載なし)
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

### 4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策

- タンザニアでのREDDプラス実施における課題として、森林評価やデータ管理に関する能力不足、地域レベルでの不十分な法執行、広大な森林の所有権が未確定であること、森林セクターの資金不足、県や省レベルでの人材不足等が指摘されている<sup>28</sup>。

<sup>25</sup> 出典：UNFCCC (2013a) Parties & Observer States: United Republic of Tanzania.

<sup>26</sup> 出典：FAO (2012b) From Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMAs) to Low-Carbon Development in Agriculture : Annex E.

<sup>27</sup> 出典：UNFCCC (2013b) Designated National Authorities.

<sup>28</sup> 出典：Otsyina R. et al. (2009) Status of REDD Readiness in Tanzania.



## 出典・参考資料

- African Wildlife Foundation (2012) African Wildlife Foundation (2012) Advancing REDD in the Kolo Hills Forests (ARKFor). AWF  
[http://www.awf.org/old\\_files/documents/climatechange/Kolo\\_Hills\\_08232012.pdf](http://www.awf.org/old_files/documents/climatechange/Kolo_Hills_08232012.pdf)
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO  
<http://www.fao.org/forestry/fra/fra2010/en/>
- FAO (2012a) Socio Economic Implications. FAO  
<http://www.fao.org/docrep/003/AB575E/AB575E05.htm>
- FAO (2012b) From Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMAs) to Low-Carbon Development in Agriculture. FAO  
[http://www.fao.org/docs/up/easypol/881/nationally\\_appropriate\\_mitigation\\_actions\\_NAMAS\\_103EN.pdf](http://www.fao.org/docs/up/easypol/881/nationally_appropriate_mitigation_actions_NAMAS_103EN.pdf)
- FAO (2013) National forest assessments- country projects: Tanzania. FAO  
<http://www.fao.org/forestry/17847/en/tza/>
- Forest Carbon Portal (2012) MCDI REDD Project. Forest Carbon Portal  
<http://www.forestcarbonportal.com/project/mcdi-redd-project>
- Government of Norway (2013) Combating Climate Change and Deforestation. Norway the official website in tanzania  
[http://www.norway.go.tz/News\\_and\\_events/Climate-Change/Ecc/](http://www.norway.go.tz/News_and_events/Climate-Change/Ecc/)
- Green Resources (2009) Reforestation in grassland areas of Uchindile, Kilombero, Tanzania & Mapanda, Mufindi, Tanzania. VCS  
<https://vcsprojectdatabase2.apx.com/myModule/Interactive.asp?Tab=Projects&a=2&i=142&lat=-8.69624423699981&lon=35.4313425710054&bp=1>
- 海外林業コンサルタンツ協会 (2013) 2013年度版開発途上国の森林・林業. 海外林業コンサルタンツ協会  
<http://www.jofca.or.jp/files/publication/F13.pdf>
- Otsyina R. et al. (2009) Status of REDD Readiness in Tanzania. The katoomba group  
<http://www.katoombagroup.org/documents/events/event18/STATUSOFREDDREADINESSINTANZANIA-KATOOMBA2.pdf>
- Tanzania (2013) REDD Readiness Progress Fact Sheet: Tanzania June, 2013. FCPF  
[http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2013/june2013/Tanzania\\_Fact\\_Sheet\\_June\\_2013.pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2013/june2013/Tanzania_Fact_Sheet_June_2013.pdf)
- Tanzania Forest Conservation Group (2012) Making REDD work for communities and forest conservation in Tanzania. Tanzania Forest Conservation Group  
<http://www.tfcg.org/makingReddWork.html>
- Tanzania REDD+ Initiative (2012) Locations of Pilots Projects in Tanzania. Tanzania REDD+ Initiative  
[http://www.reddtz.org/?page\\_id=40](http://www.reddtz.org/?page_id=40)
- TaTEDO (2012) Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngitilis in Shinyanga Region) Pilot Project. REDD desk  
<http://theredddesk.org/countries/initiatives/community-based-redd-mechanisms-sustainable-forest-management-semi-arid-areas>
- The Jane Goodall Institute (2012) Tanzania REDD program. the Jane Goodall Institute  
<http://www.janegoodall.org/programs/tanzania-redd-program>
- UN data  
<http://data.un.org/Default.aspx>
- UN-REDD (2009) Standard Joint Programme Document. UN-REDD  
<http://www.un-redd.org/Portals/15/documents/events/20090309Panama/Documents/Un-REDD%20Tanzania%20NJPD.pdf>
- UNFCCC (2013a) Parties & Observer States: United Republic of Tanzania. UNFCCC  
<http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=TZ>
- UNFCCC (2013b) Designated National Authorities. UNFCCC  
<http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP). FCPF  
[http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2010/REVISED\\_FINAL\\_Tanzania.R-PP\\_main\\_document.V12\\_7.10.2010\[1\].pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2010/REVISED_FINAL_Tanzania.R-PP_main_document.V12_7.10.2010[1].pdf)
- United Republic of Tanzania (2013a) National Strategy for Reduced Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD+). REDD+ Initiative in Tanzania  
[http://www.reddtz.org/?publication=national-redd-strategy&wppa\\_open=1](http://www.reddtz.org/?publication=national-redd-strategy&wppa_open=1)
- United Republic of Tanzania (2013 b) CARE Zanzibar. REDD+ Initiative in Tanzania  
[http://www.reddtz.org/?page\\_id=42](http://www.reddtz.org/?page_id=42)
- United Republic of Tanzania (2013c) WCST. REDD+ Initiative in Tanzania  
[http://www.reddtz.org/?page\\_id=150](http://www.reddtz.org/?page_id=150)
- WCS Tanzania (2012) Southern Highlands Conservation Programme. WCS Tanzania  
<http://www.wcstanza.org/shcp.htm>

本レポートは、2013年12月31日までに公表された情報に基づく。